



回																			
覧																			

社内研修を地域とともに仕事をたのしくする学びを

川上塗装工業株式会社（川上秀郎代表取締役）は、昨年4月から隔月で社内研修を「たのしみユニバーシティ」として地域に開放しています。

12月15日は「きれいな字を書くポイント」を田鎖美晴さんが指導。5人が社員に加わって参加しました。専務取締役の川上冨華さんは「受講だけでなく講師をしたいとの問い合わせもあり、外の方との出会いや人間関係づくりなど効果も感じているので来年度も続けたい。ぜひたくさんの方に参加してほしいです」と意気込んでいます。



社員と一般の方ががわきあいあいと共に学びました

意義や手続きの詳細も第三者組織評価を学ぶ研修

12月22日（金）、アイーナで非営利組織のための第三者組織評価制度説明会が開かれました。主催はNPO法人いわて連携復興センターと一般財団法人非営利組織評価センター。非営利組織評価センターの山田泰久さんが制度について説明しました。参加した団体の皆さんは事業と組織の継続性と資質が社会に問われていることを感じながら、支援する企業などにとって信頼できる団体とは何かを考えて、熱心に耳を傾けていました。



NPOを取り巻く環境や制度の背景もしっかり学びました

コミュニティリーダー研修会を開催します



講師：岩手大学 船戸義和氏

日時：平成30年2月16日（金）
 13：30～15：30（開場13時）
 場所：盛岡劇場メインホール
 申込不要／参加無料

第1部 講演

「総参加型を目指す自治会づくり
—災害公営住宅での取組に学ぶ—」

第2部 事例発表

- ・仙北一丁目第二町内会（平成29年度「元気なコミュニティ特選団体」）
- ・好摩地区まちづくり協議会（盛岡市「地域協働推進事業」実施地区）

県内・市内の様々な活動事例を通して、地域活動を活性化するためのヒントを探ります。

地域活動団体ポスターセッションも同時開催するよ。



つながるわ Vol.58 輪・和・WA... 和・WA...

発行：盛岡市市民協働推進課
 〒020-8530 盛岡市内丸12-2
 TEL：019-626-7535（直通）
 E-mail：kyodo@city.morioka.iwate.jp
 （平成30年1月発行）



もっと知ろうよ！ホストタウン・カナダ

昨年12月17日、イオンモール盛岡イーハートブ広場で「もっと知ろうよ！ホストタウン・カナダ」が開かれました。

盛岡市がカナダのホストタウンであることをたくさんの人に知ってもらい、盛岡に迎え入れるカナダという国の生活や文化、歴史などに触れるきっかけを作ろうと“世界につながるまち盛岡”市民会議、公益財団法人盛岡国際交流協会、盛岡市が協同で開催しました。

ステージは、MCに迎えた佐野利恵さんが、昨年5～6月に1カ月かけてカナダを横断したお笑

い芸人・大納言光子さんや29年度ビクトリア市派遣研修に参加した中学生の皆さん、市スポーツツーリズム推進室の職員らとトークを展開。シンフォニエッタ盛岡の皆さんの管弦アンサンブルもイベントを盛り上げました。

ステージイベントの様子は Youtubeで配信されています



ホストタウン?

TOKYO2020 盛岡はカナダのホストタウン

みんなでMORIOKAを世界へつなげよう

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会。東日本大震災からの復興を発信し、世界から受けた支援に対する感謝を表する大会としても位置づけられています。

盛岡市は、カナダ・ビクトリア市との30年以上にわたる姉妹都市交流の縁により、カナダのホストタウンとして、カナダチームをバックアップします。姉妹都市交流による文化・スポーツ交流やカナダチームの事前キャンプ受け入れを通じて交流を深めます。

ホストタウンとは・・・?

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会において、相手国を指定して、その国の選手や関係者等と人的、経済的、文化的な相互交流を図る自治体を指します。

相手国にとっては、ホストタウンで事前キャンプを行うことで、市民との交流等を通じてホームにいる感覚で滞在することができ、万全の状態で大大会に臨むことができます。

なぜカナダ・・・?

盛岡市は1985年にカナダのビクトリア市と姉妹都市提携を結んでいます。きっかけは盛岡市出身の先人、新渡戸稲造博士。国際連盟事務次長を務め、世界平和に貢献した博士が、国際会議の帰途にビクトリア市で倒れ、亡くなったことが縁となっています。博士の有名な言葉は「願わくは われ太平洋の橋とならん」。盛岡とカナダの架け橋となって、交流を深めましょう。

《盛岡・カナダ ホストタウン交流に参加しよう》

盛岡市では、市民の皆さんがカナダの選手・関係者や日本人オリンピック・パラリンピアンと交流する各種イベントを計画しています。

学ぼう カナダの文化や歴史を学ぼう！	あいさつしよう カナダの選手・関係者と会ったら、気軽にあいさつしよう！	観戦しよう カナダの選手の練習や試合を応援しに行こう！	体験しよう 選手が指導してくれる競技体験会や教室に参加しよう！	支えよう 事前キャンプを手伝うボランティア活動に参加しよう！
------------------------------	---	---------------------------------------	---	--

2017～2020 (大会前まで)	2020	2020 (大会後)～
《事前キャンプの誘致・受入れ》 ラグビー・水球・スポーツライミングなど 	観戦しよう 支えよう 	《大会後も継続して交流》 <ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市交流 ・日本人オリ・パラ選手との交流 ・2022 北京冬季オリンピック事前キャンプ等の国際大会会場の誘致 ・カナダ選手との交流 
《姉妹都市交流 (ビクトリア市)》 文化・スポーツ交流、中学生派遣研修など 	学ぼう あいさつしよう 	
《日本人オリンピック・パラリンピアンとの交流》 体験しよう 競技体験会等の開催 	《カナダ関係者との交流》 観戦しよう 体験しよう <ul style="list-style-type: none"> ・競技体験会の開催 ・カナダチームの応援 ※パブリックビューイングなど 	



第24回中学生ビクトリア市研修報告会



昨年11月23日、市中央公民館で研修報告会が開かれ、研修の思い出やこれからの抱負が発表されました。また、国際交流ワークショップでは、盛岡市がホストタウンとして何をすればいいかなどについて、意見を交わしました。公益財団法人盛岡国際交流協会による中学生のビクトリア研修は今回で24回目。これまでに328人をビクトリア市に派遣してきました。今回の派遣研修にも株式会社アート不動産（櫻井大介代表取締役社長）が特別協賛しています。



「姉妹都市」をテーマに発表したAuroras of the Pacificの皆さん



「ホストタウン」をテーマに発表したJagarsの皆さん



「ライフスタイル」をテーマに発表したSammiesの皆さん



世界を知り、研修が人生の転機になったと語った伊藤淳之介さん(第3回研修生)



グループワークでは研修生と外国人一般参加者で意見交換



グループごとの意見を発表しあい、参加者で共有